

2016年3月期 第3四半期 決算ハイライト



 **リそなホールディングス**
RESONA

2016年2月12日

2016年3月期 第3四半期(累計)決算の概要

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益(HD連結) : 1,301億円

- 前年同期比△611億円(△31.9%)、通期予想比進捗率74.3%

【主な変動要因(前年同期比・銀行合算)】

- 株式等関係損益(先物込)減少 △212億円
- 与信費用増加 △457億円

主要因は、① 貸倒引当金の戻入一巡

② 第2四半期に保守性を重視した引当を実施
第3四半期(3ヵ月)実績は、56億円の戻入

- 土地信託関連戻入益剥落 △109億円

■ 業務粗利益(銀行合算) : 前年同期比△181億円(△4.1%)

- 国内預貸金利益 前年同期比△138億円
貸出金残高は想定を上回る増加、利鞘は縮小傾向
 - 貸出金(平残) : 前年同期比約7,800億円増加(+2.9%)
 - 国内預貸金利回り差 : 1.25%、前年同期比△0.10%
- 役務取引等利益は堅調、前年同期比+28億円(+3.7%)
- 債券関係損益(先物込)は、四半期実績ベースで回復
(1Q:77億円 → 2Q:△6億円 → 3Q:115億円)

■ 実勢業務純益(銀行合算) : 前年同期比△100億円(△5.3%)

- 厳格な経費運営を継続

■ 財務基盤 : 健全性を維持

- 不良債権比率(銀行合算) : 1.55%
- その他有価証券評価差額(銀行合算) : 5,646億円

HD連結 (億円)		2016/3期				'15/11公表 通期 業績予想
		1-3Q	前年 同期比	増減 率	予想比 進捗率	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(1)	1,301	△611	△31.9%	74.3%	1,750
連単差((1)-(20))	(2)	148	△11			180
1株当たり四半期純利益(EPS、円)	(3)	54.17	△33.26			71.92
1株当たり純資産(BPS、円)	(4)	717.08	+56.62			
銀行合算 (億円)		2016/3期				'15/11公表 通期 業績予想
		1-3Q	前年 同期比	増減 率	予想比 進捗率	
業務粗利益	(5)	4,187	△181	△4.1%	72.0%	5,810
資金利益	(6)	2,954	△183			
うち国内預貸金利益*1	(7)	2,496	△138			
信託報酬	(8)	162	△7			
役務取引等利益	(9)	771	+28			
その他業務粗利益	(10)	299	△18			
うち債券関係損益(先物込)	(11)	186	△21			
経費	(12)	△2,432	+80	+3.2%	72.6%	△3,350
経費率	(13)	58.0%	+0.5%			
実勢業務純益*2	(14)	1,755	△100	△5.3%	71.3%	2,460
株式等関係損益(先物込)	(15)	△8	△212			
与信費用	(16)	△148	△457			△330
その他の臨時・特別損益	(17)	24	△75			
税引前四半期純利益	(18)	1,622	△845	△34.2%	72.7%	2,230
税金費用ほか	(19)	△468	+245			
四半期純利益	(20)	1,153	△599	△34.2%	73.4%	1,570

*1. 国内預貸金利益: 銀行勘定(譲渡性預金を含む)

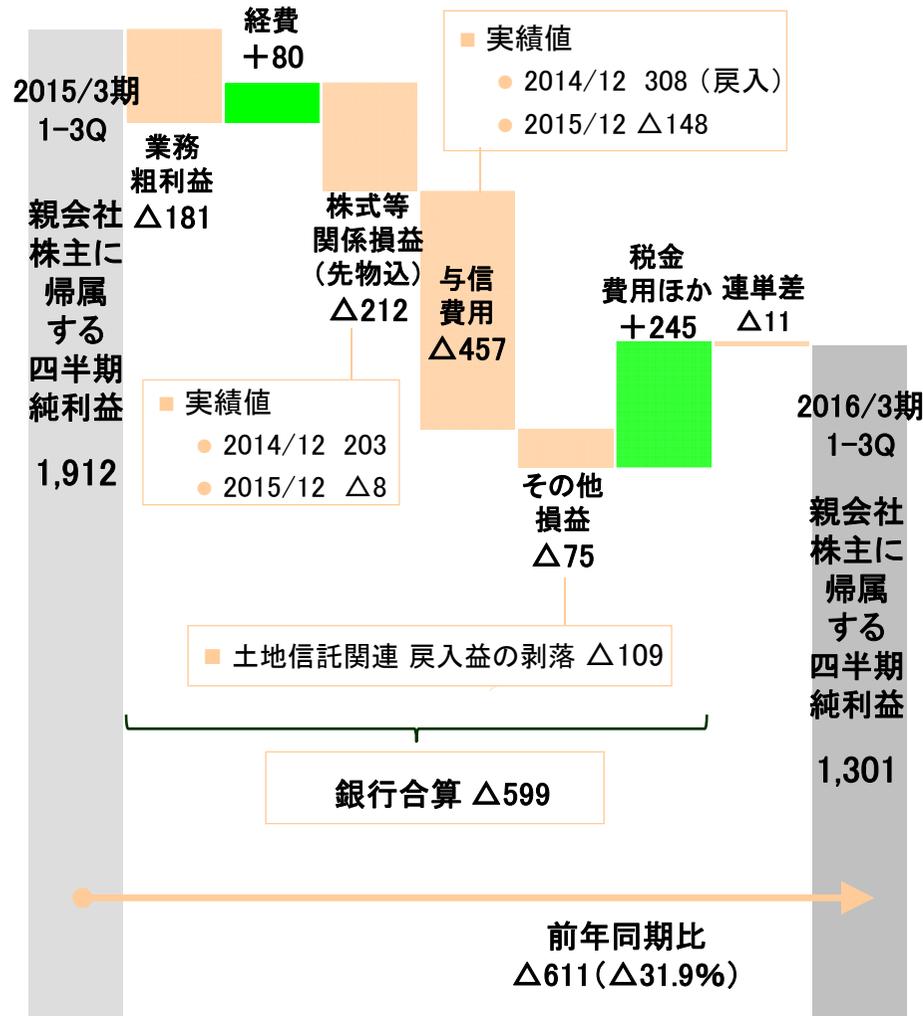
*2. 信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益

*3. 利益にマイナスの場合は「△」を付して表示

期間損益の増減要因分析(前年同期比)

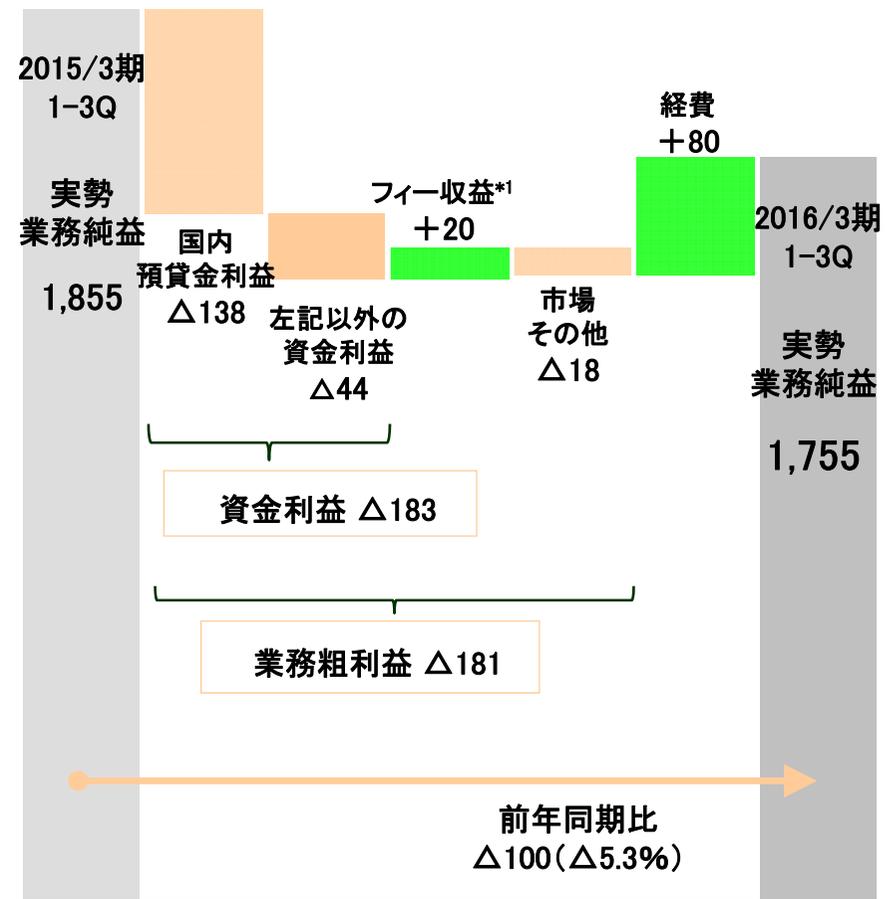
親会社株主に帰属する四半期純利益(HD連結)

(億円)



実勢業務純益(銀行合算)

(億円)



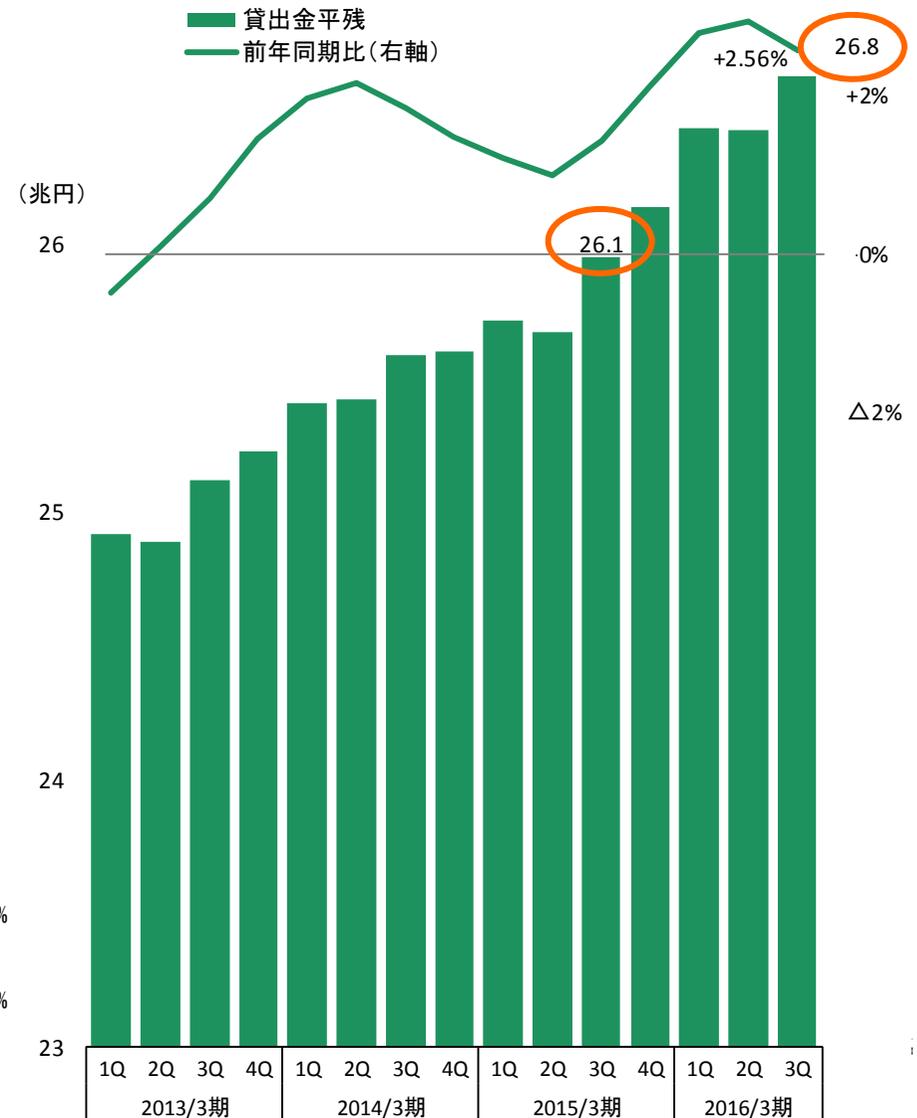
*1. 役員取引等利益+信託報酬

貸出金・預金の平残・利回りの状況(銀行合算)

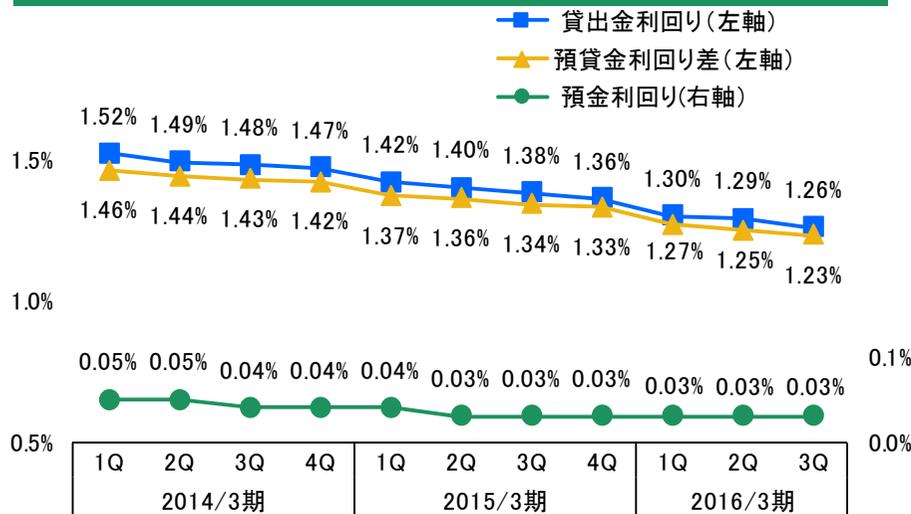
平残・利回り差

(兆円)		1-3Q		2016/3期			
		(実績)	増減率	(計画)*4	増減率		
貸出金平残(銀行勘定)		(1)	27.20	+2.98%			
国内 円貨*1	貸出金	平残 (2)	26.69	+2.75%	26.71	+2.49%	
		利回り (3)	1.28%	△0.11%	1.29%	△0.09%	
	コーポレート 部門(公共除)*2	平残 (4)	15.52	+3.36%	15.54	+2.98%	
		利回り (5)	1.15%	△0.13%	1.15%	△0.11%	
	コンシューマー 部門*3	平残 (6)	10.21	+1.79%	10.23	+1.77%	
		利回り (7)	1.53%	△0.07%	1.54%	△0.06%	
	預金+NCD	平残 (8)	38.02	+2.55%	37.78	+1.65%	
		利回り (9)	0.03%	△0.00%	0.03%	△0.00%	
	預貸金利回り差 (10)			1.25%	△0.10%	1.26%	△0.09%

貸出平残、前年同期比増減率(国内円貨)



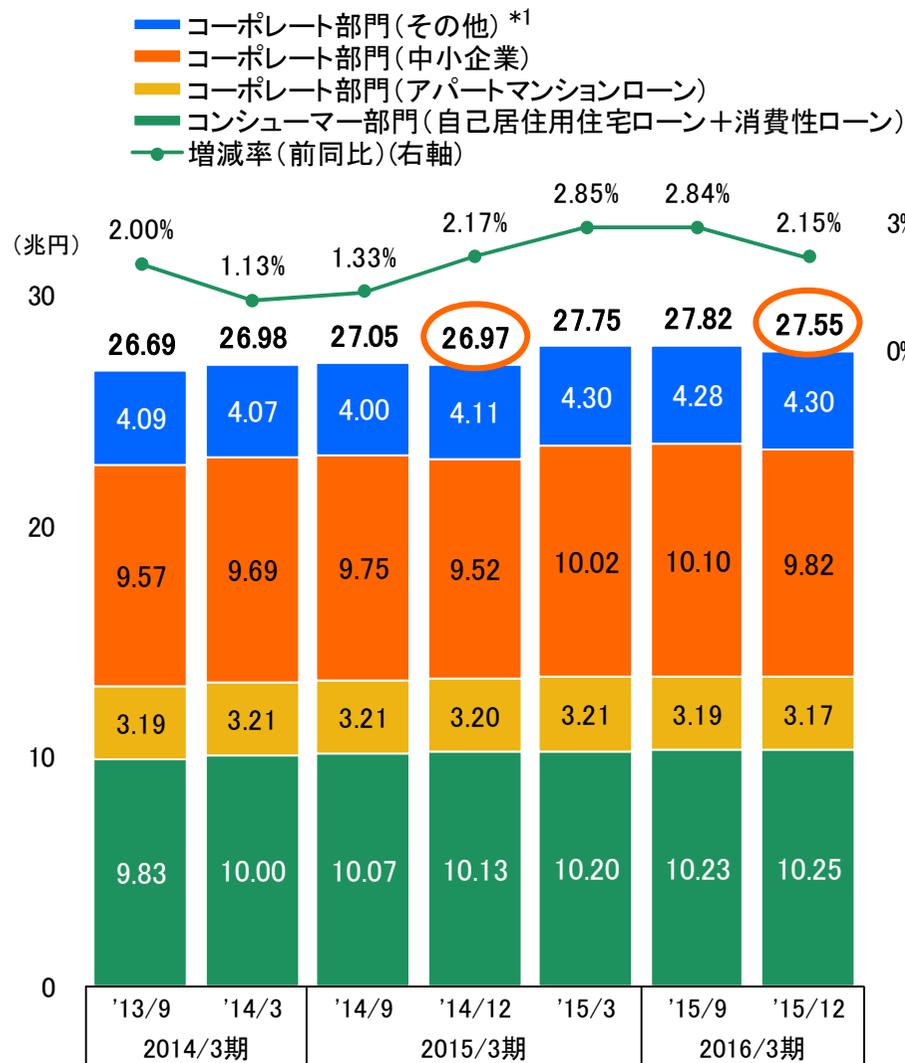
預貸金利回り・利回り差(国内円貨)



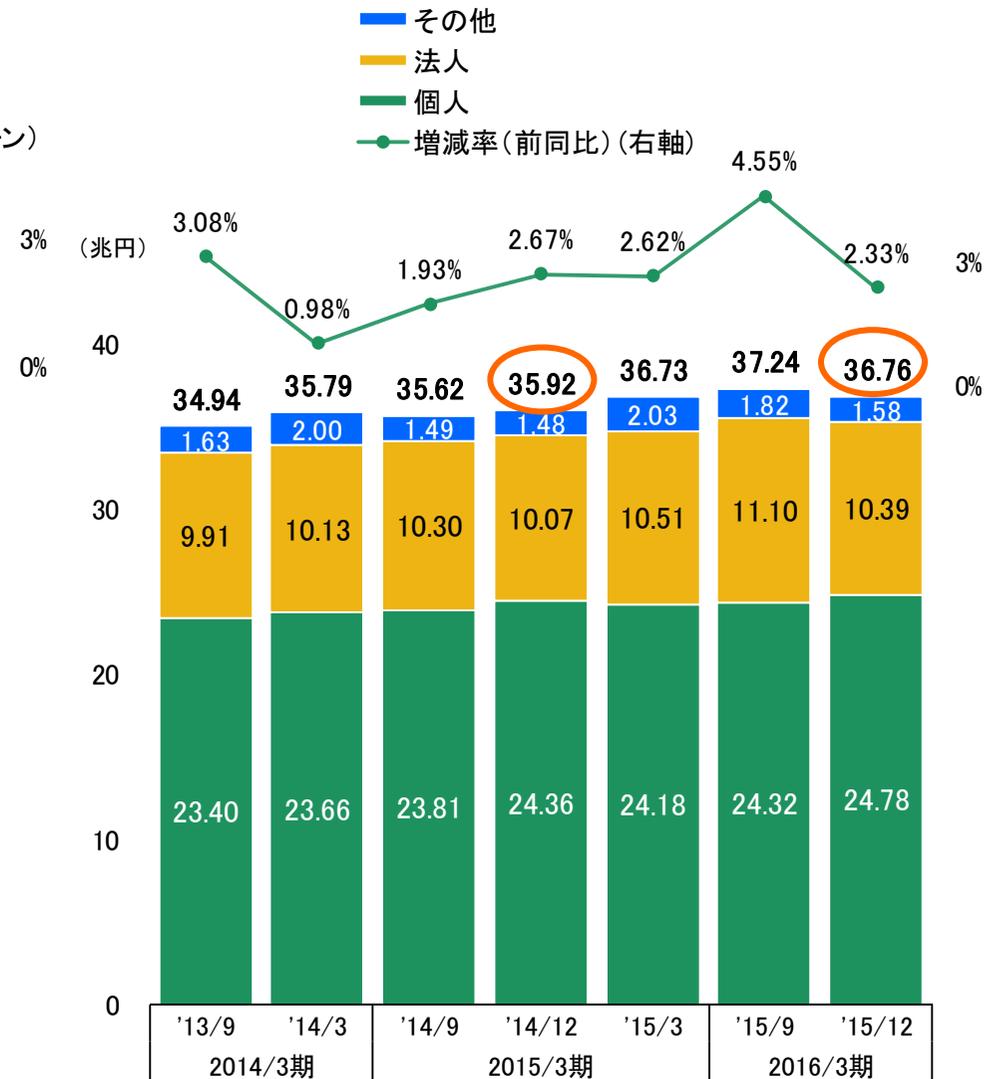
*1. 社内管理計数
 *2. コーポレート部門(公共除): 一般貸出 + アパートマンションローン
 *3. コンシューマー部門: 自己居住用住宅ローン + 消費性ローン
 *4. 2015年11月に策定した通期計画

貸出金・預金末残の状況(銀行合算)

貸出金末残



預金末残



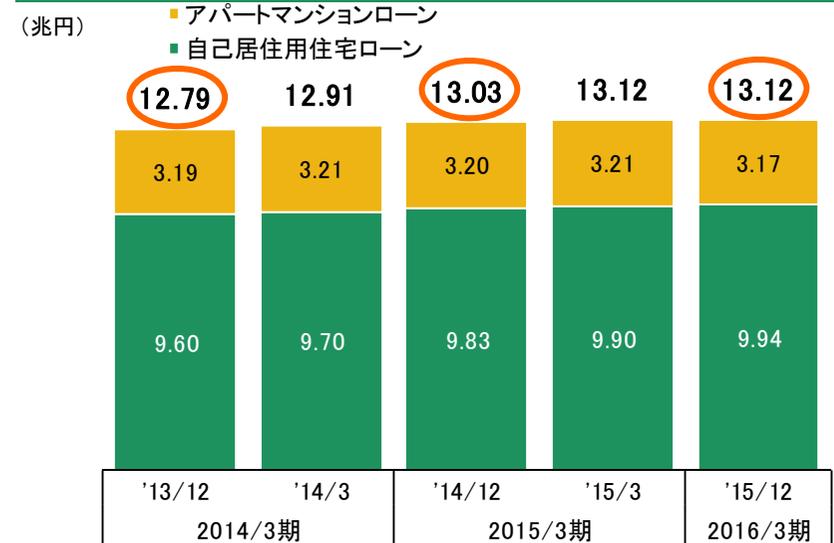
*1. りそな銀行からりそなホールディングスへの貸出 (0.30兆円)を含む

住宅ローンの状況(銀行合算)

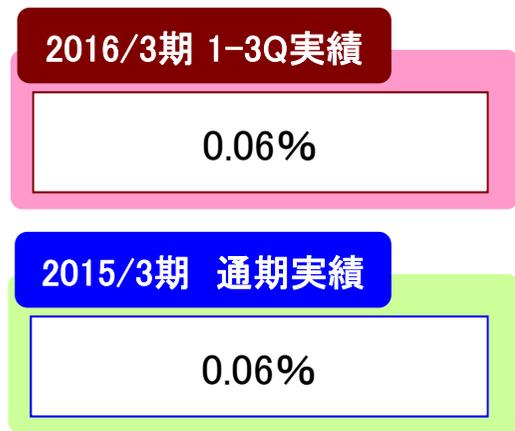
実行額の推移



残高の推移



最終ロス率*1は低位安定

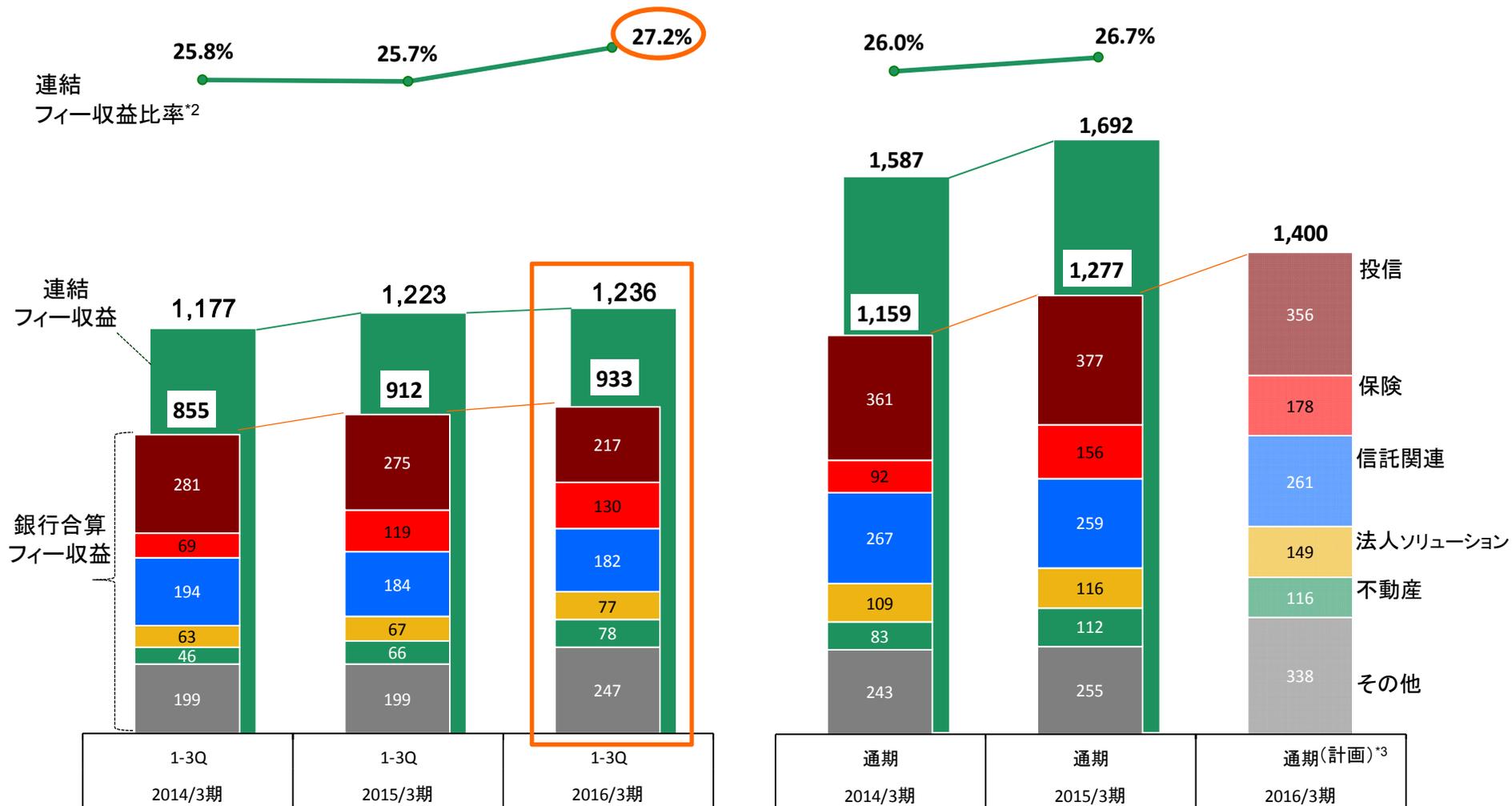


*1. 住宅ローン保証子会社代位弁済率 × (1 - 代位弁済後回収率)

フィー収益のトレンド

フィー収益*1は着実に増加、2016/3期第3四半期累計の連結フィー収益比率は27.2%

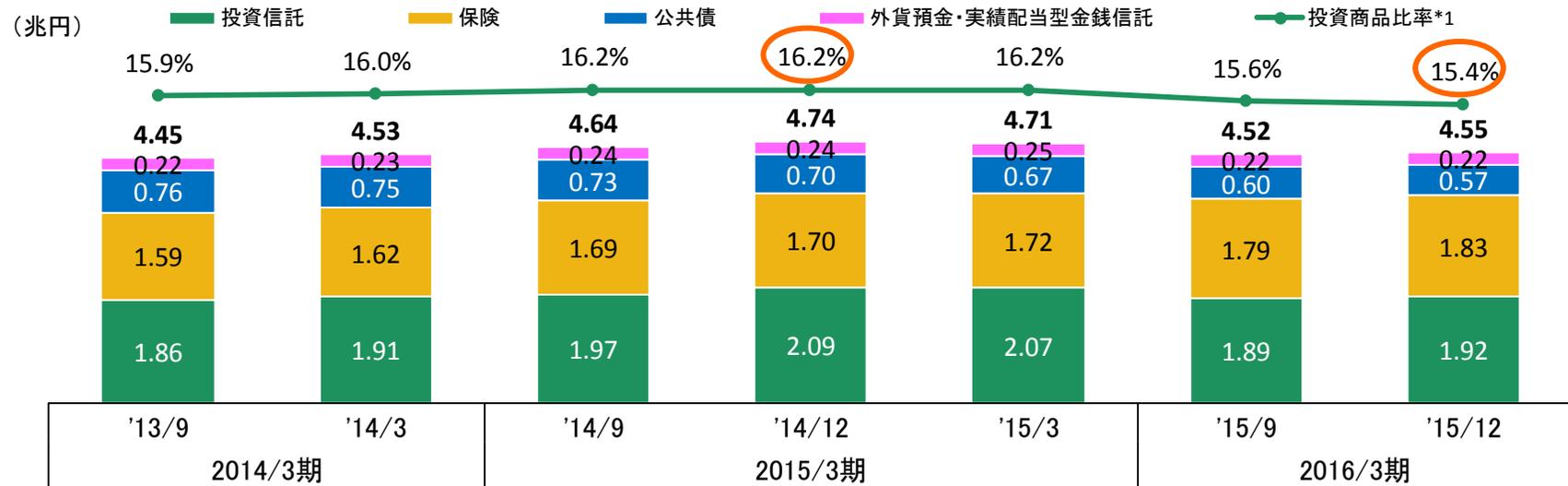
(億円)



*1. フィー収益＝役務取引等利益＋信託報酬
 *2. フィー収益比率＝フィー収益/粗利益
 *3. 2015年11月に策定した通期計画

金融商品販売ビジネスの状況（銀行合算）

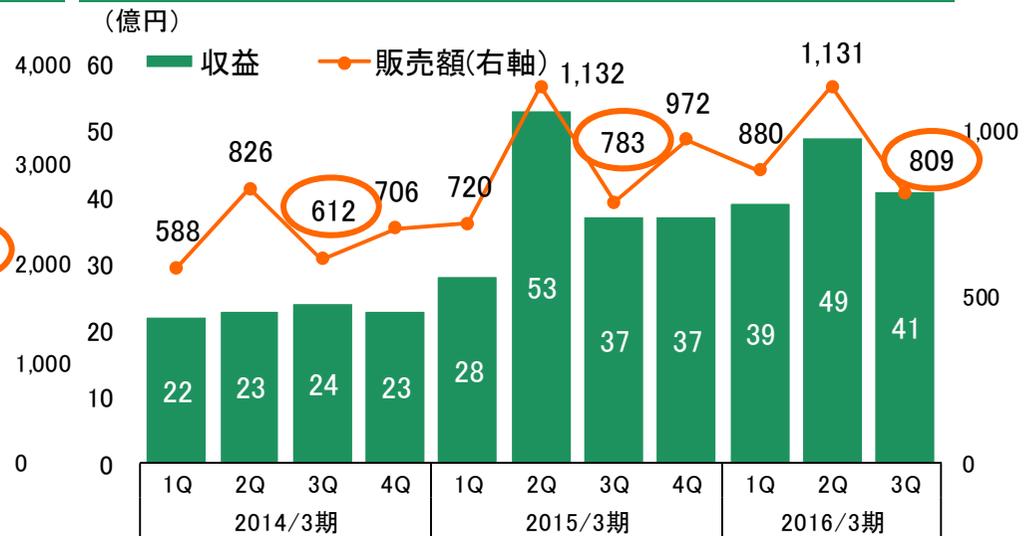
個人向け投資商品残高



投資信託販売



保険販売



*1. 投資商品比率 = 個人向け投資商品残高 / 預り金融資産残高、社内管理計数
 預り金融資産残高 = 個人向け投資商品残高 + 個人預金(円貨)、社内管理計数

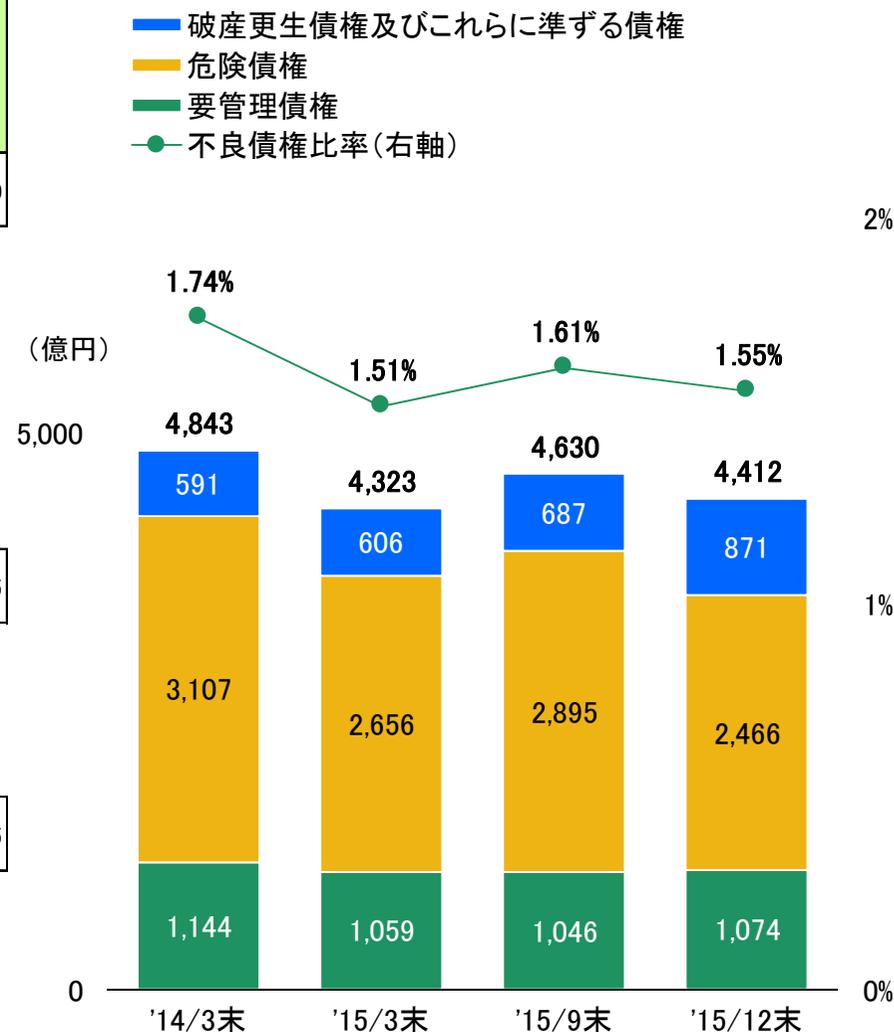
与信費用、不良債権の状況

与信費用の状況

(億円)	2014/3期	2015/3期		2016/3期			計画*1
		1-3Q (9カ月)		1H (6カ月)	3Q (3カ月)	1-3Q (9カ月)	
銀行合算 (1)	271	308	243	△205	56	△148	△330
一般貸倒引当金 (2)	284	250	235	△22	20	△1	
個別貸倒引当金等 (3)	△13	57	7	△182	36	△146	
新規発生 (4)	△368	△181	△295	△322	△26	△348	
回収・上方遷移等 (5)	354	238	303	139	62	201	
連単差 (6)	△6	30	△19	△6	△15	△21	△15
うち、住宅ローン保証 (7)	14	49	11	3	23	26	
うち、りそなカード (8)	△14	△13	△16	△11	△3	△14	
HD連結 (9)	264	339	223	△212	41	△170	△345

不良債権残高・比率の推移(銀行合算)

(金融再生法基準)



*1. 2015年11月に策定した通期計画
*2. 正の値は戻入を表す

有価証券の状況(銀行合算)

有価証券の状況

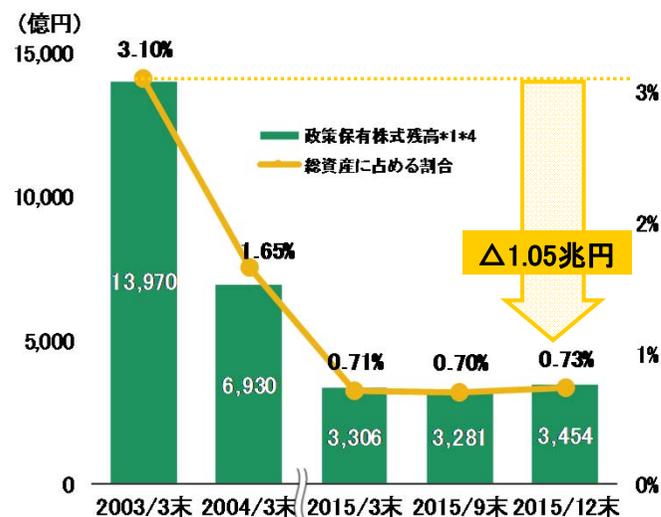
(億円)		2015/3末	2015/9末	2015/12末	評価差額
その他有価証券*1	(1)	38,276	32,865	32,980	5,646
株式	(2)	3,306	3,281	3,454	5,598
債券	(3)	31,869	25,447	21,968	96
国債	(4)	21,511	16,462	12,912	27
(デュレーション)*2	(5)	3.3年	3.0年	3.6年	-
(BPV)	(6)	△ 7.2	△ 5.0	△ 4.8	-
地方債・社債	(7)	10,358	8,985	9,055	68
その他	(8)	3,100	4,135	7,558	△ 48
外国証券	(9)	1,430	2,131	4,355	△ 62
(評価差額)	(10)	5,731	4,985	5,646	

満期保有債券*3	(11)	24,357	24,569	23,756	730
国債	(12)	19,620	19,618	18,817	576
(評価差額)	(13)	726	728	730	

*1. 取得原価、時価のある有価証券のみを対象として記載
 *2. 変動利付国債のデュレーションはゼロで計算
 *3. BS計上額、時価のある有価証券のみを対象として記載
 *4. 「その他有価証券」分

政策保有株式の状況

- 日経平均損益分岐点株価 6,000円程度
- 株式売却額(上場分・取得原価) 56億円、売却益 60億円
- これまで、退給信での保有分を含め、総合的に株式ポジションの適正化を実施
 ⇒3Qにおいて退給信に残存する保有株式の全てを銀行本体に返還(217億円)
 (退給信の株式残高 2008/3末3,083億円(時価ピーク) ⇒ 2015/12末 ゼロ)
- 政策保有株式に関する方針の概要
 公的資金による資本増強以降、残高圧縮に取組み、価格変動リスクを低減



引き続き、以下の方針を踏まえ、リスクに見合った適正なリターンを追求

1. 財務的体力を超えた政策株式の保有はしない
2. 相互の持続的な企業価値向上を通じ、中長期かつ安定的な取引関係を構築
3. 保有の是非は、中長期的な取引展望の実現可能性を含むリスク・リターンを検証し判断

自己資本の状況(HD連結)

国内基準

- 自己資本比率(2015年12月末)
: 13.88%

(億円)	2015/9末	2015/12末	増減
自己資本比率 (1)	13.90%	13.88%	△ 0.02%
自己資本の額 (2)	19,997	20,234	+ 237
コア資本に係る基礎項目の額 (3)	20,236	20,401	+ 164
資本金及び剰余金 (4)	11,764	12,211	+ 446
うち当期純利益 (5)	857	1,301	+ 212
うち社外流出予定額 (6)	△234	-	+ 234
自己株式 (7)	△22	△20	+ 1
社債型優先株式(経過措置による算入) (8)	1,750	1,750	-
劣後債等(経過措置による算入) (9)	5,702	5,531	△ 170
適格引当金等算入額 (10)	686	667	△ 19
その他 (11)	355	262	△ 93
コア資本に係る調整項目の額 (12)	239	166	△ 72
リスク・アセット等 (13)	143,832	145,715	+ 1,883
信用リスク・アセットの額 (14)	129,207	130,157	+ 950
マーケット・リスク相当額÷8% (15)	1,068	2,174	+ 1,106
オペレーショナル・リスク相当額÷8% (16)	10,756	10,756	-
フロア調整額 (17)	2,799	2,626	△ 173

(参考)国際統一基準

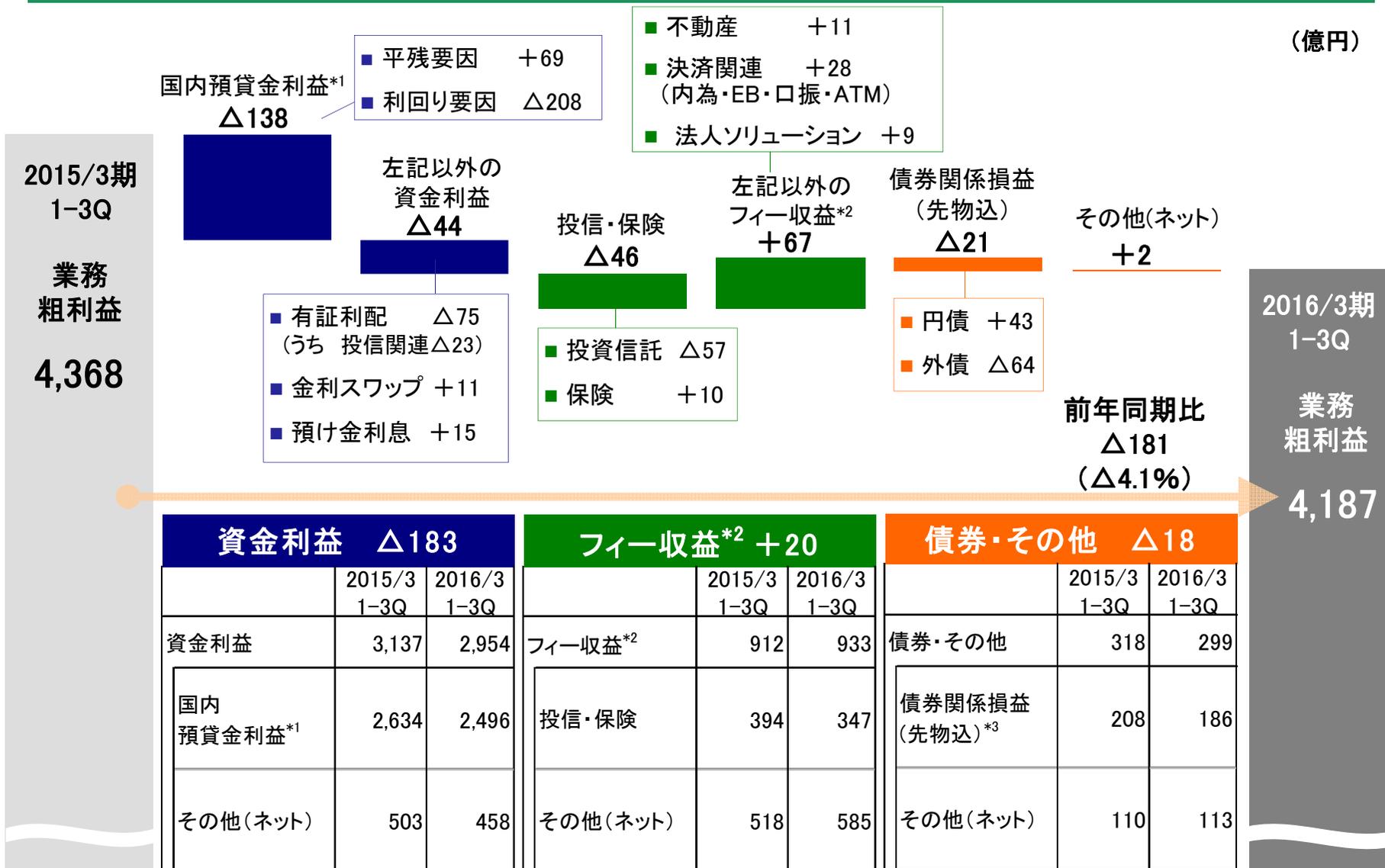
- 普通株式等Tier1比率(その他有価証券評価差額金除き)
(2015年12月末): 7.98%

(億円)	2015/9末	2015/12末	増減
普通株式等Tier1比率 (1)	8.76%	9.08%	+ 0.32%
その他有価証券評価差額金除き (2)	7.77%	7.98%	+ 0.21%
Tier1比率 (3)	9.93%	10.21%	+ 0.28%
総自己資本比率 (4)	14.24%	14.57%	+ 0.33%
普通株式等Tier1資本の額 (5)	13,083	13,721	+ 637
基礎項目の額 (6)	13,446	14,039	+ 593
資本金及び剰余金 (7)	11,764	12,211	+ 446
うち当期純利益 (8)	857	1,301	+ 212
うち社外流出予定額 (9)	△234	-	+ 234
自己株式 (10)	△22	△20	+ 1
その他の包括利益累計額 (11)	1,592	1,776	+ 183
うちその他有価証券評価差額金 (12)	1,479	1,662	+ 182
その他 (13)	111	72	△ 38
調整項目の額 (14)	362	318	△ 43
その他Tier1資本の額 (15)	1,740	1,717	△ 23
Tier1資本の額 (16)	14,824	15,438	+ 613
Tier2資本の額 (17)	6,435	6,584	+ 149
総自己資本の額(Tier1+Tier2) (18)	21,260	22,023	+ 762
リスク・アセット等 (19)	149,282	151,068	+ 1,785
信用リスク・アセットの額 (20)	135,565	137,113	+ 1,547
マーケット・リスク相当額÷8% (21)	1,068	2,174	+ 1,106
オペレーショナル・リスク相当額÷8% (22)	10,756	10,756	-
フロア調整額 (23)	1,892	1,023	△ 868

(ご参考) 業務粗利益の前年同期比増減要因(銀行合算)

業務粗利益は前年同期比△181億円(△4.1%)の減益

(億円)



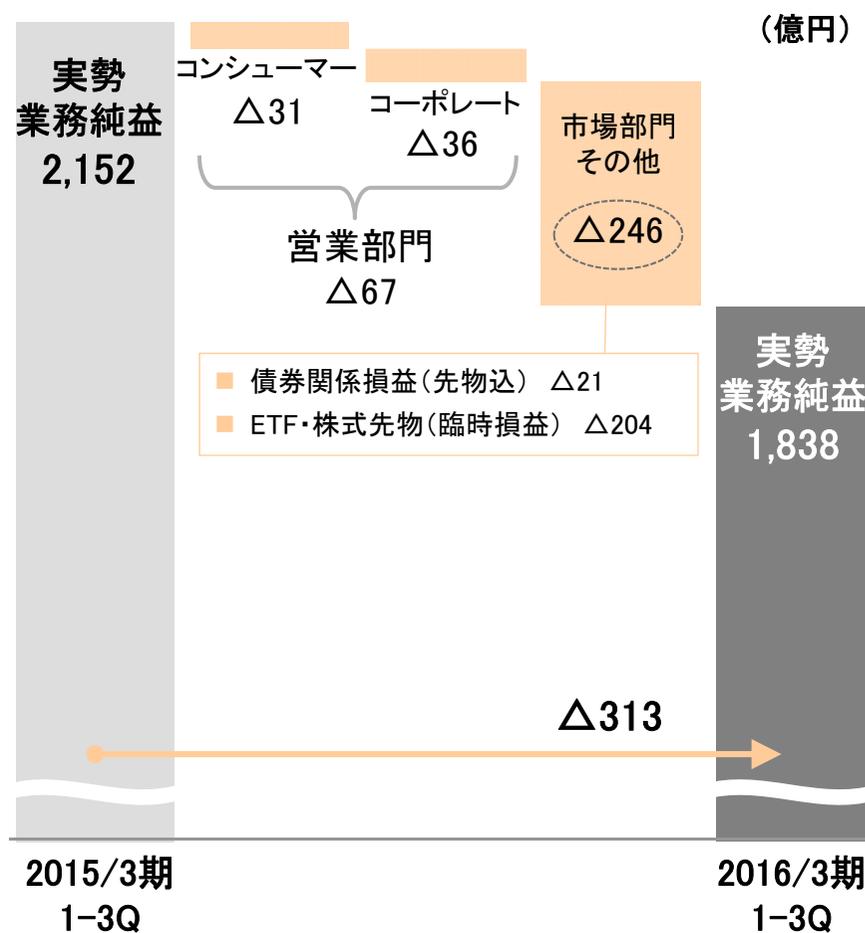
*1. 国内預貸金利益: 銀行勘定(譲渡性預金を含む)
*3. 債券関係損益+金融派生商品損益(債券関連)

*2. 役務取引等利益+信託報酬

(ご参考)事業部門別の損益概要 (1)

実勢業務純益は、市場部門の減益を主因に前年同期比△313億円の減益

(億円)		2016/3期 1-3Q	前年同期比
営業部門	(1) 業務粗利益	3,865	△ 154
	(2) 経費	△ 2,383	+ 86
	(3) 実勢業務純益	1,482	△ 67
コンシューマー事業	(4) 業務粗利益	1,845	△ 80
	(5) 経費	△ 1,265	+ 49
	(6) 実勢業務純益	580	△ 31
コーポレート事業	(7) 業務粗利益	2,019	△ 73
	(8) 経費	△ 1,118	+ 36
	(9) 実勢業務純益	901	△ 36
市場部門・その他	(10) 業務粗利益	428	△ 240
	(11) 経費	△ 71	△ 5
	(12) 実勢業務純益	356	△ 246
合計	(13) 業務粗利益	4,294	△ 395
	(14) 経費	△ 2,455	+ 81
	(15) 実勢業務純益	1,838	△ 313



管理会計における計数の定義

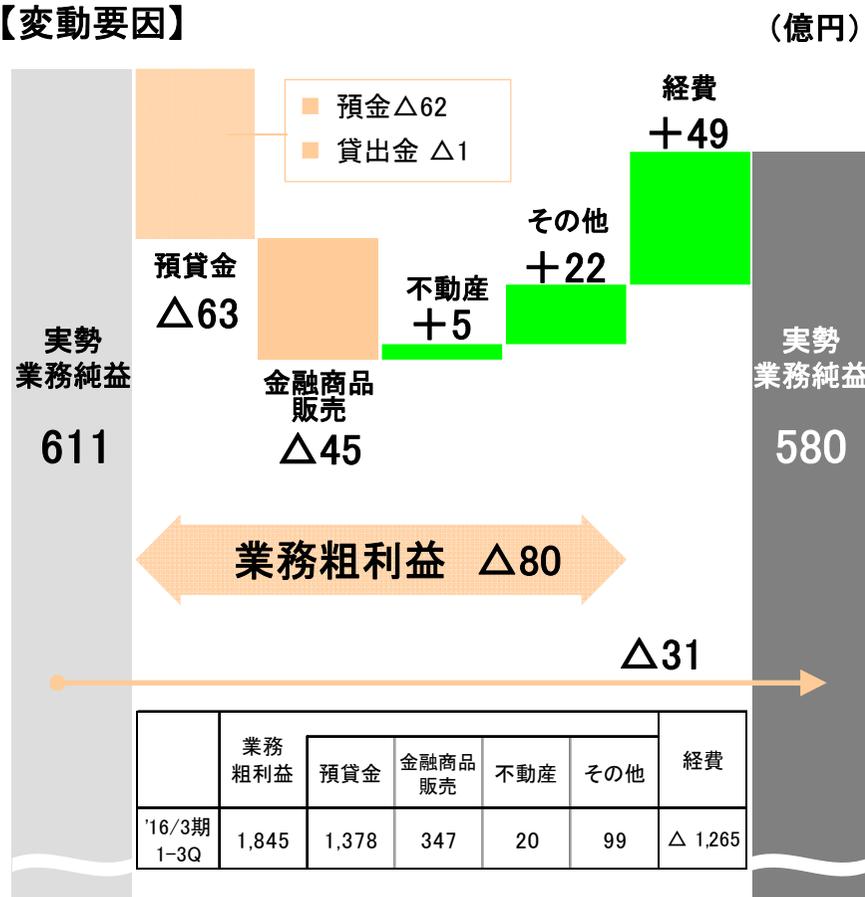
- 傘下3銀行及びローン保証子会社3社の計数を計上
- 市場部門の業務粗利益には、株式等関係損益の一部を含む
- 「その他」には、経営管理部門の計数等を含む

(ご参考)事業部門別の損益概要 (2)

コンシューマー事業部門

- 実勢業務純益は前年同期比△31億円の減益
 - 預貸金収益・金融商品販売の減益を不動産・決済関連フィー及び経費圧縮により、一部補完

【変動要因】



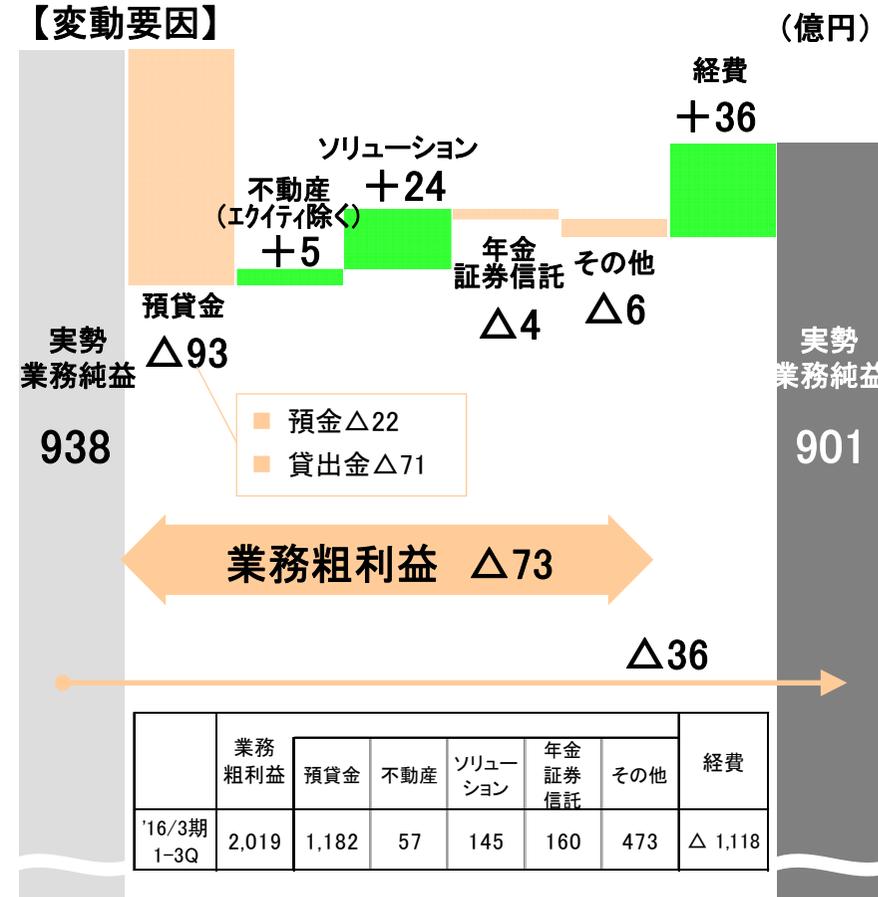
2015/3期
1-3Q

2016/3期
1-3Q

コーポレート事業部門

- 実勢業務純益は前年同期比△36億円の減益
 - 預貸金収益の減少を不動産・ソリューションフィー及び経費圧縮で一部補完

【変動要因】



2015/3期
1-3Q

2016/3期
1-3Q

本資料中の、将来に関する記述（将来情報）は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。

想いをつなぐ、未来を形に。 *Next Action* RESONA GROUP

